

# 校長室だより



岸和田市立浜小学校 渡瀬 克美

今年も『笑顔あふれる学校！』をめざして、

「校長室だより」を発信していきたいと考えています。

今年、春の訪れが遅かったのですが、ようやく満開の桜に陽射しがまぶしく、匂いまでもが華やいでまいりました。今年度も先生方が入れ替わりました。さびしい気持ちでいっぱいですが新しい先生方を迎え、気分一新して新学期を迎えました。浜の子どもたちのよさを伸ばし課題を解決できるように浜教師集団でしっかり取り組んで参りたいと考えています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

「平成24年度 岸和田市立浜小学校 経営方針」をお知らせします。

2012, 4

【めざすもの】 - 子どもの笑顔があふれる学校 -

- ①・めざす子ども像、クラス像を明確に
- ②・「たのしくて」「分かる」「できる」「分かち伝える」学習で絆を
- ③・熱いハートと冷静な頭脳(生活指導の充実)
- ④・地域との連携を密にして安心・安全な学校に(地域とともに)

- 子どもの笑顔があふれる学校 -

はじめに

まず、初めの大きなテーマ「子どもの笑顔あふれる学校」の「笑顔」とは先生に対する信頼を意味します。先生と子どもの関係が「笑顔の信頼」で結ばれることが学級づくりで最も大切なものの一つだと考えます。そのためには、まず、「先生から子どもたちに笑顔を！！」「温かいまなざしで子どもたちに安心を」がキーワードだと考えます。そのために、私も先生方を笑顔で応援していくとともに、毎朝、正門で『笑顔で』あいさつをして子どもたちを迎えます。

あいさつをしよう



①・めざす子ども像、クラス像を明確に

「この先生でよかった」よりも「このクラスでよかった」といえるクラスに

先生に依存せず、自分たちのクラスのことは自分たちで考えて動くクラスは後者です。言いたいことが言えて、分からないことがあれば友達が教えてくれる。それを裏で支えているのが担任なのです。ですから「いい先生」と呼ばれるよりも「めざすクラス像」を明確にした実践が大切なのです。本校のめざすクラス像・子ども像は、『物事を暴力で解決せず、論理的に考える力をつけフォローシップ（見抜く力）を身につけ、話し合いで解決し、筋道を立てて考える子どもを育てる（クラスにする）ことです。』そうすることで、いじめや仲間外れをなくし『浜は一つ』の絆を深めたいと考えています。そのために授業改善をします。

## ②'「楽しくて」・「分かる」・「できる」・「分かち伝える」学習で絆を

学校生活のほとんどが授業です。その授業が「楽しくて」・「分かる」・「できる」・「分かち伝える」学習であるかどうかを私たち教師に問われています。そのために今年度はどのクラスも子どもを主役にした学習づくりのための授業研究をはじめ、先生同士の相互参観や私や教頭先生で授業を見たり一緒に考えたりして授業（学習）について相談やアドバイスをしていきたいと考えています。

## ③'熱いハートと冷静な頭脳(生活指導の充実)

浜の子どもは、「面白いことは面白い」「いやなことはいや」とはっきり言いとても分かりやすく人なつっこいのです。しかしこの長所が時として相手を傷つけることがあります。そんな時こわい顔して叱る、だけでない方法を（先生のかかわり方）について更に研修を深め、子どもを愛する「熱いハートと冷静な頭脳」を獲得したと考えています。そして、保護者の方と担任が子どもについて謙虚に話し合う機会をつくって参りたいので何とぞよろしくお願ひします。

## ④'地域との連携を密にして安心・安全な学校に(地域とともに)

浜地区市民協、学校協議会、連合町会、岸和田漁連、連合老人会、見守りボランティア、梶野産業見守隊、地域交通安全推進委員、交通指導員、更生保護女性会、子ども会を初めとするたくさんの方々の支援で成り立っていることを改めて認識し感謝の気持ちを持ちたいと考えています。

**教職員が互いに助け合い、高め合い責任を持って業務を遂行することで学校集団として組織的に機能できるようにしていきます。**

- ・教育実践には失敗はつきものです。失敗の後は「誠実」がキーワードです。  
失敗は当たり前（子どもも教師も）
- ・日頃から交換授業や合同授業などを実践して、学年（隣接）が組織的に活動しながら子どもをみていきます。生活全般については小さな学校ですから教職員全員で子どもたちに関わります。  
学校運営は、各主坦者を中心に企画・立案・実践・総括（評価）を組織的に行っていきます。

### 一人で悩み、抱え込まないために（観る、観られる）意識で

視点・・・【一人ひとりをしっかり掘り下げ観つめていく。】

☆学校が学年（隣接）が組織的に活動して子どもを観ていきます。【他のクラス、授業を観て学ぶ】

☆自分以外の学級経営や授業・学習の組織を観て、良いところを吸収していきます。

☆観られることで刺激を。教師力（授業力）の向上にします。

- ・自分のクラスの子どもたちに観られていることを刺激に
  - ・他のクラスの子ども（交換授業・合同授業等）に観られることを刺激に
  - ・日常的に他の教職員に観られることを（相互参観）を刺激に
- 学校外の人に観られることを刺激にしていきます。



- ・金曜日の職員朝会「ちょっと気になる子どもの話」では問題の分析と方向を考えながら話をしたり聴いたりする習慣を身につけます。【分析と総合】
- ・問題・課題だけでなく良いことも話をします。学校全体で観ていくためには、実態把握が大切です。「失敗の実践は必ず役に立つのです」（『教室は間違えるところ』と同じです。）